

1 題材『展覧会をつくろう』 中学校(全学年)

2 題材の目標

- 地域の作品について、造形的な視点や、材料、地域性、歴史、作家の人物像など様々な視点から、自分の思いや考えを深め、展覧会を企画することができる。(知識及び技能)
- 自分で展覧会を企画する活動を通して、作品や展覧会に対する自分の思いや考えを語り合ったりすることで、地域の作品に対する自分の思いや考えを深めることができる。(思考力・判断力・表現力等)
- 地域の作品のよさや魅力を感じとり、それらの作品を使って展覧会の企画する活動を通して、地域の作品に親しみ、文化を継承する態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

3 主眼

地域の作品のよさや魅力を味わい、それらの作品を使って展覧会を企画したり、互いに作品について語り合ったりする活動を通して、地域ゆかりの作品や美術文化を継承する態度を育てる。

4 準備

edukenbi(えでゅけんび)のアートカードサイト

5 展開

(50)

段階	学習活動・内容	支援のポイント	形態	配時
見通しをもつ	1 数種の展覧会のチラシやポスターを見て、本時の学習のめあてをつかむ	○地域の美術館主催の展覧会チラシやポスターを提示し、それぞれの展覧会の特徴について発表させる。(テーマ、作品、作家、作風など)	全	5
	めあて 地域ゆかりの作品で、展覧会を企画しよう			
考えをもつ	2 アートカードサイトで、お気に入りの作品を5, 6点選び、展覧会を企画する(テーマ・タイトル・順番・位置など)	○支援者がアートカードサイトを使って、デモンストレーションをしてみせる。	全	15
広げ深める	3 企画した展覧会を開くための「あいさつ文」を考える	*「あいさつ文」・・・展覧会テーマについて分かりやすく伝える内容の文章	個	10
	4 グループ内で展覧会を開く(「あいさつ文」を読み上げながら、自分の展覧会を紹介する)	○展覧会図録等のあいさつページのコピーを例文として提示する。 ○各自の発表の後に意見交流させる	グ	15
振り返る	5 本時の活動について、気づいたことや感想を発表する	○数人に発表させ、出てきたキーワードから支援者がまとめる。	個全	5
	まとめ(例) ★展覧会を開くためには、造形的な要素の他にも作者の心情や意図、表現の工夫など、様々な視点で作品をとらえ、作品に対する自分なりの見方や感じ方を深めることが大切だ。 (★地域ゆかりの作品をいろんな人に紹介し、観てもらうことは大切だ。)			